

第2学年 生活科学学習指導案

令和5年 9月27日（水） 第5校時

高越小学校 2年 22名

指導者 T1 教諭

T2 教諭

T3 栄養教諭

1 単元 ぐんぐんそだて みんなの野さい

2 単元設定の理由

本単元では、2年生生活科の学年目標、「身近な人々、社会及び自然と触れ合ったり関わったりすることを通して、それらを工夫したり楽しんだりすることができ、活動のよさや大切さに気づき、自分たちの遊びや生活をよりよくするようにする。」のもと、1学期は夏野菜（ミニトマト、カラーピーマン、丸なす）を育て、観察・収穫を体験してきた。

本学級の児童に野菜に関するアンケートをとってみると、嫌いな3大野菜は、ピーマン、ゴーヤ、なすびであった。理由として、苦い味や食感などが挙げられていた。実際、給食時には、自分に配膳された給食を完食するため少し減らして欲しいと、野菜の食缶の前に並ぶ児童も少なくない。そのため、学活では、食材の栄養（赤・黄・緑）について話し合った。また1学期末には、育った野菜をピザにして食べ、みんなで収穫の喜びを味わった。嫌いな野菜として挙げられていたピーマンやなすびも入っていたが、自ら手作りし食べることによって、全員「美味しい」と満足の笑みにあふれていた。

2学期に入り、秋冬野菜を育てる計画をする中で、野菜についてもっと知りたいという声があがった。そこで、野菜作りをしている地域の方に育てている野菜を見せていただき、インタビューなどを行う機会を設けた。そこでは、生産者としての思いにも触れることができた。本時では、さらに野菜の栄養面に注目し、改めて野菜の優れている点や違いがあることについて考えさせたい。そして、食事のポイントとして味や食感によってのみ左右されるのではなく、健康な体づくりのための「食」をとらえる素地作りになる学びになって欲しいと思い、本単元を設定した。

3 単元の目標

野菜などの植物を育てる活動を通して、それらの育つ場所、変化、そして成長の様子などに関心を持ち、親しみをもって世話をしたり、観察したりすることができるとともに、それらが生命をもっていることに気づき、大切にしようとすることができる。

4 単元の評価規準

生活への 関心・意欲・態度	活動や体験についての 思考・判断・表現	身近な環境や自分についての 気付き
育てている植物に関心を寄せ、繰り返し関わろうとしている。	植物の育つ場所，変化や成長について考え，世話の仕方を工夫している。	植物の特徴，育つ場所，変化や成長の様子に気付いている。

5 食育の視点

健康に過ごすために，野菜の働きを理解し，好き嫌いをしないで野菜を食べようとすることができる。（心身の健康）

6 単元計画

- 第1次 育てる野菜を決めよう・・・・・・・・・・1時間
 第2次 野菜の世話と観察をしよう・・・・・・・・10時間
 第3次 野菜パーティーをしよう・・・・・・・・・・2時間
 第4次 秋・冬野菜に挑戦しよう・・・・・・・・・・5時間（本時4／5）

7 本時

（1）目標

野菜の栄養について知り，すすんで食べようとする意欲をもつことができる。

（2）展開

時間	学習活動	指導上の留意事項	目指す児童の 姿と評価方法
8分	1 野菜のことについて教えてもらったことを振り返ったり，野菜クイズに答えたりする。	○生産者としての思いを振り返りをさせる。	
やさいはかせになろう			
10分	2 野菜のパワーについて知る。	○まずペアで考えさせてから，体を元気にする野菜のパワーについて，覚えやすい言葉に注目して理解させる。 - 野菜のパワー ----- ①つやつや ②すっきり ③バリア	
22分	3 野菜の名前を答え，その中から	○苦手な野菜にどんなパワーが	ワーク

5分	苦手な野菜を3つ選び、そのパワーについて調べる。 4 学んだことのまとめをする。	あるか、調べて色をぬる作業をしながら理解させる。 ○野菜によってそのパワーに違いがあることも確認する。 ○これから自分ができ考虑的を考えたり、今までより改善したりしようとする前向きの意見を大切にする。	シート
----	--	---	-----

(3) 評価及び指導の例

「十分満足できる」と判断される状況	○野菜が体によいことを理解し、野菜を食べるために自分で実践することを考えている。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	○野菜の働きを覚えやすい言葉や絵を使って視覚的にわかりやすく示す。 ○友だちの発表を参考に、自分にできることを考えさせる。

8 他教科との関連

国語科「かんさつ名人になろう」